

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 04-274485

(43)Date of publication of application : 30.09.1992

(51)Int.Cl.

G09G 5/00
G06F 15/20

(21)Application number : 03-035921

(71)Applicant : HITACHI LTD

(22)Date of filing : 01.03.1991

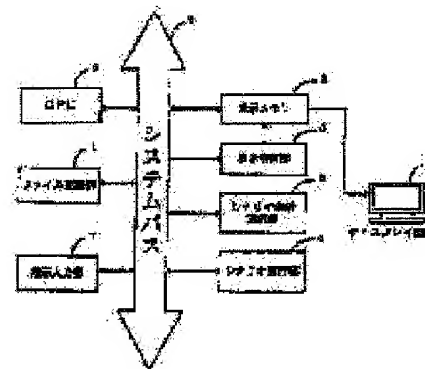
(72)Inventor : NAKASUGI TAKASHI
FUKUSHIMA TADASHI

(54) PRESENTATION DEVICE AND ITS SCENARIO DISPLAY SELECTING METHOD

(57)Abstract:

PURPOSE: To offer the presentation device which displays a list of the contents of registered scenarios from a recording medium where the plural scenarios are recorded and enables a scenario to be selected while its contents are confirmed.

CONSTITUTION: The presentation device consists of a file recording part 1 wherein plural pieces of image information, reduced image information of their images, and scenario information on the display procedure of the image information are recorded, a display memory 2 wherein the image information is written, a display control part 3 which performs display control over the display memory, a display device 4 which displays the image information, a scenario display selection part 5 which analyzes the scenarios recorded in the file recording part, lists the analytic results, and selects the scenario, a scenario execution part 6 which executes the selected scenario, and an instruction input part 7 which accepts operator's instruction from the scenario display selection part and scenario execution part.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's
decision of rejection]

[Date of extinction of right]

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平4-274485

(43) 公開日 平成4年(1992)9月30日

(51) Int.Cl. ⁵	識別記号	庁内整理番号	F I	技術表示箇所
G 0 9 G 5/00	A	8121-5G		
G 0 6 F 15/20	5 3 0 J	6945-5L		

審査請求 未請求 請求項の数4(全9頁)

(21) 出願番号 特願平3-35921

(22) 出願日 平成3年(1991)3月1日

(71) 出願人 000005108

株式会社日立製作所
東京都千代田区神田駿河台四丁目6番地

(72) 発明者 中杉 高志

神奈川県横浜市戸塚区吉田町292番地株式
会社日立製作所映像メディア研究所内

(72) 発明者 福島 忠

神奈川県横浜市戸塚区戸塚町216番地株式
会社日立製作所情報映像事業部情報映像開
発センター内

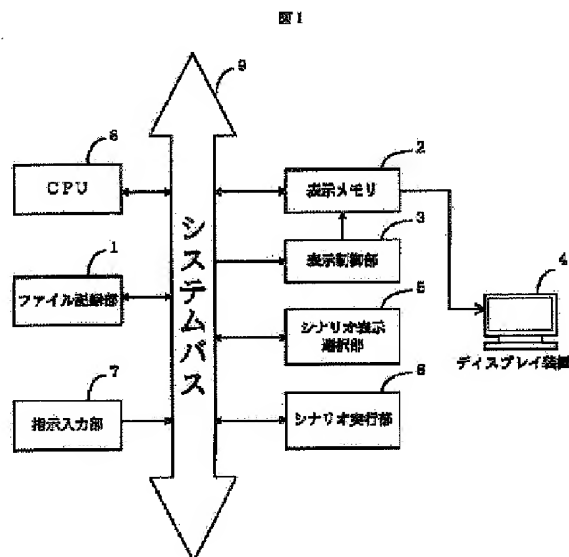
(74) 代理人 弁理士 小川 勝男

(54) 【発明の名称】 プレゼンテーション装置及びそのシナリオ表示選択方法

(57) 【要約】

【目的】複数のシナリオが記録されている記録媒体から、登録されているシナリオの内容を一覧表示して、シナリオの内容を確認しながらシナリオ選択できるプレゼンテーション装置を提供することを目的とする。

【構成】複数の画像情報と該画像を縮小した縮小画像情報と画像情報の表示手順を定めたシナリオ情報とを記録するファイル記録部(1)と、画像情報を書き込む表示メモリ(2)と、表示メモリの表示制御を行う表示制御部(3)と、画像情報を表示するディスプレイ装置(4)と、ファイル記録部に記録されたシナリオを解析して、解析した結果を一覧表示して、シナリオ選択を行うシナリオ表示選択部(5)と、選択されたシナリオを実行するシナリオ実行部(6)と、シナリオ表示選択部やシナリオ実行部での操作者の指示を受け付ける指示入力部(7)から構成されるプレゼンテーション装置である。



【特許請求の範囲】

【請求項1】プレゼンテーションシステムのディスプレイ画面上で表示するプレゼンテーション用原稿表示手順を定めたシナリオを表示選択する方法であって、複数のプレゼンテーション用原稿の画像情報と該画像を縮小した縮小画像情報とシナリオ情報とを記録手段に格納しておき、前記記録手段に格納された全てのシナリオ情報の内容を解析するシナリオ解析手段と、前記シナリオ解析手段により解析されたシナリオ情報を一覧表示するシナリオ表示手段と前記一覧表示されたシナリオの任意の一つを選択するシナリオ選択手段と前記シナリオ選択手段で選択されたシナリオをプレゼンテーション実行するシナリオ実行手段を備えたことを特徴とするプレゼンテーション用シナリオ表示選択方法。

【請求項2】請求項1に記載のシナリオ表示選択方法において、前記シナリオ解析手段において、シナリオ情報の最初に出てくる画像情報を登録し、前記シナリオ表示手段においてシナリオファイル名を一覧表示すると共に前記シナリオ解析手段で登録された画像情報の縮小画像情報をマルチ画面表示することを特徴とするプレゼンテーション用シナリオ表示選択方法。

【請求項3】請求項1に記載のシナリオ表示選択方法において、前記シナリオ解析手段において、シナリオ情報作成時に指定された画像情報を解析登録し、前記シナリオ表示手段においてシナリオファイル名を一覧表示すると共に前記シナリオ解析手段で登録された画像情報の縮小画像情報をマルチ画面表示することを特徴とするプレゼンテーション用シナリオ表示選択方法。

【請求項4】請求項1に記載のシナリオ表示選択方法において、前記シナリオ解析手段において、シナリオ情報に記述された総ページ数を解析しシナリオファイル情報と共に登録し、前記シナリオ表示手段においてシナリオファイル名を一覧表示すると共に前記シナリオ解析手段で登録された総ページ数やシナリオファイル情報を必要に応じて表示することを特徴とするプレゼンテーション用シナリオ表示選択方法。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】本発明は、コンピュータ等で作成された文字・図形やカラースキャナ等で入力した自然画等の画像情報を表示する画像表示装置に係わり、特に学会や講演会等で画像情報をプレゼンテーションする際にプレゼンテーション手順（以下シナリオと称す）を作成し、作成されたシナリオを選択実行する機能を備えたプレゼンテーションに好適なシステムに関する。

【0002】

【従来の技術】従来、学会や講演会等の発表では、聞き手の理解を深めるために、説明の要点を記した文字・図形等を書き込んだ原稿（以下発表原稿と称す）を透明なフィルムに複写し、これを光学的な方法で拡大投射する

装置や、ビデオカメラで発表原稿を撮影し、テレビモニターなどに表示する装置などが用いられてきた。しかし、これらの装置では発表原稿を手作業で作成しなければならず、このため前記発表原稿を作成するのに手間がかかっていた。さらに、発表時に発表者もしくは別の操作者が発表用原稿を交換しなければならず、スムーズな発表を行うことが困難であった。

【0003】そこで、最近これらの装置に代わり、コンピュータで作成した文字図形情報やスキャナ等で入力した自然画像情報を、電子的に作成・編集・記録し、前記記録された発表用原稿データをプレゼンテーションする順番に表示することによって、発表時の画面交換のスムーズなプレゼンテーションシステムが提案されている。さらに、必要に応じて前記電子的に記録された画像情報を拡大縮小等の画像処理を加えてディスプレイ装置にマルチ画面を表示し、前記マルチ画面の中からプレゼンテーションに必要な画像情報を選択表示する事によって融通性のある効果的なプレゼンテーションができる装置が提案されている。例えば、特開昭62-152076号公報に記載のように、情報蓄積手段に蓄えられた複数の表示情報の中から必要なものを選択して目的とする表示情報セット（本発明のシナリオに当たる）を作成し、表示情報セットに従ってプレゼンテーションを行う装置や、特開昭61-235981号公報に記載のように、個々の画像情報をそれぞれ縮小化しマルチ画面化し、対話的画像処理技術を併用して効果的なプレゼンテーションを行うプレゼンテーション装置が提案されている。

【0004】

【本発明が解決しようとする課題】プレゼンテーションを行う学会や講演会では、複数の発表者がそれぞれ違ったシナリオのプレゼンテーションを行い、各発表者ごとのシナリオを簡単に選択実行したいと言う要求がある。また、各発表者のプレゼンテーションに関しても学会や講演会ごとに違ったシナリオを作成して幾通りかのシナリオを使い分けたいと言う要求がある。

【0005】上記従来技術では、複数のシナリオが登録されている場合には、発表者がプレゼンテーションを行うシナリオ名を記憶しておき、このシナリオ名を指示して実行する方法しかなく、複数のシナリオの内容を一覧表示して確認し、簡単な操作で選択実行する方法についてはあまり考慮されていなかった。

【0006】本発明は、上記問題を解決し、記憶媒体に複数のシナリオが記録されている場合に、登録されている複数のシナリオの内容を一覧表示して選択でき、さらにプレゼンテーションを実行したいシナリオを簡単な操作で選択実行できるプレゼンテーション装置を提供することを目的とする。

【0007】

【課題を解決するための手段】上記目的を達成するため、本発明では、図1に見られる如く、複数のプレゼン

テーション用原稿の画像情報と該画像を縮小した縮小画像情報と前記画像情報の表示手順を定めたシナリオ情報とを記録するファイル記録部(1)と、前記画像情報を表示するために書き込む表示メモリ(2)と、前記表示メモリの表示制御を行う表示制御部(3)と、前記表示メモリに書き込まれた画像情報を表示するディスプレイ装置(4)と、前記ファイル記録部に記録されたシナリオを解析して、シナリオの表示選択を行うシナリオ表示選択部(5)と、前記シナリオ表示選択部で選択されたシナリオを実行するシナリオ実行部(6)と、前記シナリオ表示選択部やシナリオ実行部での操作者の指示を受け付ける指示入力部(7)と、を少なくとも具備して成るプレゼンテーション装置を用いた。

【0008】

【作用】前記ファイル記録部に記録されている複数のシナリオ情報の内容を前記ディスプレイ装置に一覧表示して、前記指示入力部からの入力で任意特定の一つを選択して、シナリオ実行部で選択されたシナリオを実行させるに際し、前記シナリオ表示選択部は、前記表示制御部に命令して、前記ファイル記録部から、そこに記録してあるシナリオ情報を順に読み出し、内容を解析してシナリオ選択に必要な情報をシナリオファイル名と共に前記表示メモリに書き込み前記ディスプレイ装置に一覧表示させ、前記シナリオ表示選択部は、ディスプレイ装置に一覧表示されたシナリオの中の特定の一つを指定する指示入力部が前記指示入力部からあったことを検出する毎に、前記表示制御部に命令して、その指定されたシナリオを選択したことを示す情報を表示メモリに書き込み前記ディスプレイ装置に選択されたシナリオが判別できるように表示させ、前記シナリオ表示選択部は、指定したシナリオを選択確定する旨の入力が前記指示入力部からあったことを検出すると、選択確定したシナリオファイル名を前記シナリオ実行部に、プレゼンテーションを実行するシナリオとして渡す。

【0009】前記シナリオ実行部は、前記シナリオ表示選択部から実行すべきシナリオファイル名が指定されると、前記ファイル記録部から指定されたシナリオ情報を読み込み解釈して、前記ファイル記録部に記録されている画像データを前記表示制御部に命令して、前記シナリオに指定された順番に指定された効果を付けて前記表示メモリに書き込んで、プレゼンテーションを実行する。

【0010】

【実施例】以下、本発明の実施例を詳細に説明する。

【0011】図1は、本発明の一実施例を実行するプレゼンテーション装置のブロック図である。同図において、1はプレゼンテーションの対象となる画像データの原画像データと縮小画像データと前記原画像データの表示手順であるシナリオを記録するファイル記録部、2は画像データを一時的に記録しておく表示メモリ、3は表示メモリ2にファイル記録部1から原画像データや縮

小画像データを読み出して、指定された位置に書き込みを行う表示制御部、4は表示メモリ2に記録された画像データを表示するディスプレイ、5はファイル記録部1に記録されているシナリオ情報を読み出し解析して、選択に必要な情報を一覧表示や選択指示を行うシナリオ表示選択部、6はシナリオ表示選択部5で選択されたシナリオを実行するシナリオ実行部、7は操作者の指示が入力される指示入力部、8は本発明全体の制御を行うCPU、9は本発明の各部分のデータや制御命令をやり取りするシステムバスである。

【0012】まず、プレゼンテーションを行うための画像データやシナリオデータをファイル記録部1に蓄積する。例えば、画像データをカメラやカラーイメージスキャナ等から取り込み、取り込んだ原画像データの縮小画像データを作成すると共に、取り込んだ画像データの表示手順であるシナリオデータを作成してファイル記録部1に記録する。

【0013】図2にファイル記録部1に画像データ(原画像、縮小画像の対)とシナリオデータを記録する場合の記録フォーマットの一例を示す。同図において、21はデータを記録するために記録位置管理されたデータ記録媒体、22はデータ記録媒体21の中のファイル管理情報を記録するファイル管理情報領域、23はデータ記録媒体21の中の画像データやシナリオデータを記録するデータ記録領域である。また、LBN1~LBN5はデータ記録媒体21上の記録位置、C1はシナリオデータの情報量、V1~V4は各画像データのデータ量である。

【0014】データ記録媒体21は、論理的にデータを読み書きできるブロック(以下セクタと称す)に区切られており、各セクタを区別するためにシリアル番号(LBN1、LBN2、LBN3、...)が振られている。このシリアル番号を指定することによってデータの読み書きを行うことができる。さらに、記録された画像データはそれぞれ名前を付けてファイルとして管理され、ファイルを管理するための情報はファイル管理情報領域22に記録され、原画像データと縮小画像データとシナリオデータはデータ記録領域23に記録される。このように、画像データや文字データをファイル記録部1に記録する事により、原画像や縮小画像を再生でき、シナリオデータを読み出し解析実行することができる。

【0015】図3にファイル管理情報領域22に記録される情報を示す。画像データ(原画像と縮小画像の対)とシナリオデータはデータ記録領域23に記録される。そのとき記録されるファイル管理情報は、各データを区別するためのファイル名、画像データかシナリオデータかを区別するためのデータ属性、各データのデータ量、各データのデータ記録媒体21上の記録位置(セクタのシリアル番号)、縮小画像データの表示画面上の表示範囲(X方向とY方向の画素数)、縮小画像データのデー

5

タ記録媒体21上の記録位置(セクタのシリアル番号)、原画像データの表示画面上の表示範囲(X方向とY方向の画素数)、原画像データのデータ記録媒体21上の記録位置(セクタのシリアル番号)である。

【0016】ファイル記録部1から画像データやシナリオデータを読み出す場合は、上記ファイル管理情報を検索することにより必要な画像データ(原画像データや縮小画像データ)やシナリオデータをファイル名と記録位置で読み出すことができる。例えば、図3にあるファイル名"絵2"の縮小画像データを読み出す場合は、ファイル管理情報領域22の中のファイル名を検索して、"絵2"ファイルのデータ量は"V3"で、縮小画像データの表示位置は"DX, DY"で、縮小画像データの記録位置は"LBN4"であることがわかる。次に、データ記録領域23の"LBN4"から縮小画像データを"V3"分だけ読み出すことにより"絵2"の縮小画像データを表示することができる。

【0017】また、ファイル名"シナリオ1"のシナリオデータを読み出す場合は、ファイル管理情報領域22の中のファイル名を検索して、"シナリオ1"ファイルのデータ量は"C1"で、シナリオデータの記録位置は"LBN3"であることがわかる。次に、データ記録領域23の"LBN3"からシナリオデータを"C1"分だけ読み出すことにより"シナリオ1"のシナリオデータを読み出すことができる。

【0018】次に、図1に戻り、画像データを表示させる表示動作の説明を行う。ここで、画像データ(原画像データまたは縮小画像データ)は、必要に応じて別々に読み出されて、それぞれ表示メモリ2に一時的に記録され、表示制御部3によって周期的に読み出されて、ディスプレイ装置4に表示される。

【0019】まず、シナリオ表示選択部5、または、シナリオ実行部6はシナリオ表示選択動作やシナリオ実行動作で必要に応じて、ファイル記録部1から、表示を行う画像データを読み出し、表示メモリ2の指定された表示位置に書き込む。次に、表示制御部3は、ディスプレイ5の表示動作に合わせて、表示メモリ2から、画像データを画素づつ読み出し、読み出した画像データをディスプレイ装置4に出力する。さらに、表示制御部3は、プレゼンテーション実行時の表示効果を出すために表示メモリ2に一時的に記録された画像データの画像表示処理を行う。例えば、画像データの読み出しタイミングを変えるパン(画像データの表示位置を変える表示処理)や、読み出しデータを変換テーブルによって変換するフェードアウト(だんだん表示画面が背景色一色だけの表示画面に変化する処理)やフェードイン(徐々に表示画面が背景色一色から元の表示画面に変化する処理)や、表示メモリ2上の画像データを直接書き換えるワイプ(画像データの複写処理)等を行う。

【0020】各部が以上の動作を行うことによりファイ

6

ル記録部1から読み出された画像データに各種の表示効果を付けて、ディスプレイ装置4に表示する事ができる。

【0021】次に、シナリオ実行部6の動作を説明するために、ファイル記録部1に記録された画像データの表示手順を定めたシナリオを記述するシナリオコマンドについて説明する。図4は、プレゼンテーションを実現するための基本的なシナリオコマンドの一例である。

【0022】効果命令は、画像データを表示させるときに付けたい表示効果(フェードやワイプ等)をパラメータとして付けて記述し、このコマンドが実行されると、シナリオ実行部6に表示効果として登録される。ここで、表示効果フェードとは前の表示画面がだんだん消えてから次の画面が徐々に現れる表示効果を示す。また、表示効果ワイプとは前の画面に次の画面が重なるようにして現れる表示効果を示す。表示命令は、表示させたい画像データのファイル名をパラメータとして付けて記述し、このコマンドが実行されると指定されたファイル名の画像データを現在設定されている表示効果で表示される。入力待ち命令は、パラメータ無しで記述し、このコマンドが実行されると図1の指示入力部7から入力指示があるまでシナリオ実行部6はポーズ状態になる。

【0023】図1におけるシナリオ実行部6のシナリオを実行する動作の流れを示したフローチャートである。

【0024】まず始めに、シナリオ表示選択部5から実行するシナリオファイル名を受け取る(S1)。次に、受け取ったシナリオファイル名のシナリオをファイル記録部1から1行分だけ読み込む(S2)。ここで、読み込んだシナリオデータがデータの終わりである場合(S3: YES)は、シナリオ実行を終了する(S4)。データの終わりでない場合(S3: NO)は、読み込んだシナリオデータが効果命令かどうか判別する(S5)。シナリオデータが効果命令の場合(S5: YES)は、表示効果のパラメータをシナリオ実行部6に設定する(S6)。設定終了後は、次のシナリオデータを読み込む(S2)。シナリオデータが効果命令でない場合(S5: NO)は、読み込んだシナリオデータが表示命令かどうか判別する(S7)。シナリオデータが表示命令の場合(S7: YES)は、パラメータに指定された画像ファイルをファイル記録部1から読み込む(S8)。次に、読み込んだ画像データをシナリオ実行部6に設定してある表示効果で表示する(S9)。設定終了後は、次のシナリオデータを読み込む(S2)。シナリオデータが表示命令でない場合(S7: NO)は、読み込んだシナリオデータが入力待ち命令かどうか判別する(S10)。シナリオデータが入力待ち命令の場合(S10: YES)は、指示入力部7の入力判定を行う(S11)。もし、入力指示が無かった場合(S12: NO)は、処理S11を繰り返す。指示入力があった場合(S12: YES)は、次のシナリオデータを読み込む(S

7

2)。シナリオデータが入力待ち命令で無かった場合(S10:NO)は、エラー処理をする(S13)。エラー処理後は、次のシナリオデータを読み込む(S2)。

【0025】以上の動作をシナリオ実行部6が行うことにより、シナリオ表示選択部5から指定されたシナリオをファイル記録部1から読み出して実行することができる。

【0026】次に、シナリオ表示選択部5のシナリオ内容の一覧表示、及び、シナリオ選択の動作を説明する。

【0027】図7は、シナリオの内容としてシナリオデータの最初に出てくる画像ファイルの縮小画像データを一覧表示に用いた場合のシナリオ表示選択部5の表示の一例を示したものである。図7の表示例では、シナリオ名をリスト形式に一覧表示し、各シナリオに対応した縮小画像データを前記シナリオリストの横にマルチ画面表示している。シナリオ選択操作者は、指示入力部7から、次のシナリオ選択指示や前のシナリオ選択指示や現在選択されているシナリオの確定指示を入力することにより、プレゼンテーションを行うシナリオを選択実行することができる。また、シナリオ選択操作者は、選択枠が選択されているシナリオ名とそれに対応する縮小画像を囲むように表示されることにより現在選択されているシナリオ名とそれに対応する縮小画像を確認することができる。

【0028】次に、上記シナリオ一覧表示画面を例にとりシナリオ表示選択部5のシナリオ一覧表示の動作とシナリオ選択動作の動作の説明をする。図8は、シナリオ表示選択部5での動作の流れを示したフローチャートである。

【0029】まず始めに、シナリオ表示選択部5はファイル記録部1に登録されている最初のシナリオファイルを読み込む(S1)。読み込んだシナリオファイルを解析して、シナリオの最初に出てくる画像ファイル名を現在解析中のシナリオファイル名と共にシナリオ表示選択部5に登録する(S2)。ここで、図4に示したシナリオコマンド体系のシナリオデータを読み込んだ場合では、処理S2は最初に出てくる“表示命令”のパラメータに記述されている画像ファイル名をシナリオ表示選択部5に登録する。図5に示したシナリオデータを例にすると、行番号12に記述されている“絵2”と言う画像ファイル名が登録される。処理S2の処理が終わるとシナリオ記録部1に登録されている。次に、次のシナリオファイルを読み込む(S3)。ここで、次のシナリオファイルが読み込んだ場合(S4:YES)は、処理S2と処理S3を繰り返す、シナリオ表示選択部5にシナリオファイル名と対応する画像ファイル名をリストアップしていく。もし、次のシナリオファイルが読み込めなかった場合(S4:NO)は、シナリオ表示選択部5にリストアップされたシナリオファイル名をリスト形式に一

8

覧表示し、それに対応する画像ファイルの縮小画像データをファイル記録部1から読み出してマルチ画面表示する(S5)。次に、デフォルト設定として一覧表示されているシナリオリストの最初のシナリオファイル名と対応する縮小画像に選択されたことを示す選択枠を付ける(S6)。次に、指示入力部7に入力された指示を判別する(S7)。入力された指示が次のシナリオ選択指示の場合(S8:YES)は、次のシナリオファイル名と対応する縮小画像に選択されたことを示す選択枠を付ける(S9)。ただし、次に選択すべきシナリオがない場合は、その情報を操作者に知らせしてから、さらに処理S7を続ける。入力された指示が次のシナリオ選択指示でない場合は場合(S8:NO)は、入力された指示が前のシナリオ選択指示かどうか判別する(S10)。入力された指示が前のシナリオ選択指示の場合(S10:YES)は、前のシナリオファイル名と対応する縮小画像に選択されたことを示す選択枠を付ける(S11)。ただし、前に選択すべきシナリオがない場合は、その情報を操作者に知らせしてから、さらに処理S7を続ける。入力された指示が前のシナリオ選択指示でない場合は場合(S10:NO)は、入力された指示がシナリオ選択確定指示かどうか判別する(S10)。入力された指示がシナリオ選択確定指示の場合(S12:YES)は、現在選択枠の付いているシナリオファイル名をシナリオ実行部6に渡し(S13)、シナリオ表示選択動作を終了する。入力された指示がシナリオ選択確定指示でない場合は場合(S10:NO)は、さらに処理S7を続ける。

【0030】以上の動作をシナリオ表示選択部5が繰り返すことにより、シナリオ実行を行おうとする操作者が、一覧表示されたシナリオ名のリスト表示と各シナリオに記述してある最初の画像ファイルの縮小画像のマルチ画面から、シナリオの内容を確認して選択する事が出来る。ここで、シナリオリストが表示画面上に表示しきれなかった場合については、図8の動作フローチャートには明記していないが、シナリオ選択動作で表示されていないシナリオを選択した場合に、選択されたシナリオを含む一覧表示が新たに上書きされるようにする。

【0031】以上説明したように、本実施例は、プレゼンテーションを行う操作者が、複数のシナリオが登録されているファイル記録部1から実行するシナリオを選択する場合に、シナリオファイル名の一覧表示だけでなく、各シナリオの最初に記述されている画像ファイルの縮小画像をマルチ画面表示した中から、目的のシナリオの内容を確認しながら選択できる。上記実施例では、縮小画像データはファイル記録部1に記録しているが、表示の度に原画像データを、ドット間引きを行いながら表示メモリ2に書き込むようにすれば予め記録しておく必要はない。

【0032】図7において、選択したことを示すために

選択したものの回りを枠で囲んだ選択枠を用いているが、これは選択していることが解るのであれば網がけ等の選択手段を用いても良い。

【0033】図8によるシナリオ表示選択部5の動作説明で、シナリオリスト表示と共に必ず縮小画像のマルチ画面を表示するようにしているが、縮小画像の表示ON、OFF機能を付加して、マルチ画面表示が必要な時だけ表示できるようにしても良い。

【0034】図9は、図1、図8を参照して説明した実施例の変形実施例を説明するための、図8と同様なフローチャートである。

【0035】この場合、シナリオ表示選択部5はシナリオデータの最初に出てくる画像ファイルをシナリオ表示選択部5に登録するのではなく、予めシナリオデータに検索用画像ファイルを登録するか、または、図4で説明した“表示命令”に特別なマークを付けておいて、この検索用画像ファイルかマーク付きの表示命令の画像ファイル名をシナリオ表示選択部5に登録して、シナリオのリストアップを行うようにする。これにより任意の画像ファイルをシナリオ選択用のマルチ画面として表示できる。その意味の実施例であるので、その動作は、9図のフローチャートを参照されたい。

【0036】図10も、変形実施例を説明するための、図8と同様なフローチャートである。この実施例では、シナリオデータから検索用画像ファイルを登録すると共に、シナリオデータの総ページ数や作成日時やコメント等の検索用文字情報もシナリオ表示選択部5に登録する。この登録された検索用画像情報と検索用文字情報をシナリオファイル名を選択した時に、シナリオファイルの詳細情報として表示する。図11に、本実施例の表示例を示す。選択枠は、シナリオファイルが選択されていることを示す。検索画像表示領域は、現在選択されているシナリオファイルに対応する画像ファイルの縮小画像を表示する領域である。検索情報表示領域は、シナリオ表示選択部5に登録されている検索文字情報（シナリオの総ページ数等）を表示する領域である。ここで、シナリオリストの中のある特定のシナリオを選択すると、選択されたシナリオファイル名に選択枠が付けられて、選択されたシナリオに関する画像ファイルの縮小画像と検索文字情報が、それぞれ検索画像表示領域と検索文字情報表示領域に表示される。上記以外の動作や表示は、第1の実施例と同じである。

【0037】

【発明の効果】以上説明したように、本発明によれば、プレゼンテーションを実行するシナリオを選択する際に、シナリオに記述されている内容を解析して、各シナリオで使用している画像ファイルやページ数等を検索情報として登録し、登録された検索情報をシナリオファイル名と共に一覧表示する。これにより、実行するシナリオを選択する操作者が、一覧表示されたシナリオファイル名を選択するだけで、シナリオの選択実行ができ、使い勝手の良い。さらに、一覧表示された検索情報を参照しながら実行シナリオの選択が行えるので正確なシナリオ選択を行うことができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の一実施例を実現するプレゼンテーション装置の構成を示すブロック図

【図2】画像ファイルとシナリオファイルを記録する部分の記録フォーマット図

【図3】画像ファイルとシナリオファイル記録時のファイル管理情報領域の内容説明図

【図4】シナリオを記述するシナリオコマンドの説明図

【図5】シナリオの記述例を示したシナリオ説明図

【図6】本発明のシナリオ実行の動作を説明する流れ図

【図7】一実施例を示すシナリオ選択時の表示画面のレイアウト図

【図8】本発明の一実施例を示すシナリオ表示選択動作の流れ図

【図9】本発明の他の実施例を示すシナリオ表示選択動作の流れ図

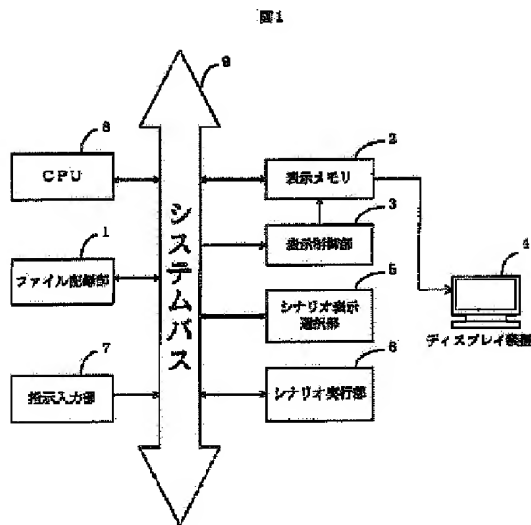
【図10】他の実施例を示すシナリオ選択時の表示画面のレイアウト図

【図11】本発明の他の実施例を示すシナリオ表示選択動作の流れ図

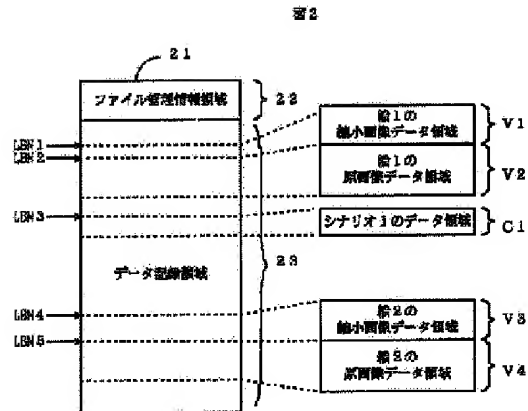
【符号の説明】

- 1... ファイル記録部
- 2... 表示メモリ
- 3... 表示制御部
- 4... ディスプレイ装置
- 5... シナリオ表示選択部
- 6... シナリオ実行部
- 7... 指示入力部
- 21... データ記録媒体
- 22... ファイル管理情報領域
- 23... データ記録領域

【図1】



【図2】



【図3】

図3

ファイル名	ファイル情報		縮小画像情報		原画像情報		
	データ属性	データ量	記録位置	表示範囲	記録位置	表示範囲	記録位置
縮小1	イメージ	V1-V3	LBN 1	DL, DF	LBN 1	DL, DF	LBN 2
シナリオ1	テキスト	C1	LBN 3	—	—	—	—
縮小2	イメージ	V3-V4	LBN 4	DL, DF	LBN 4	DL, DF	LBN 5

【図4】

図4

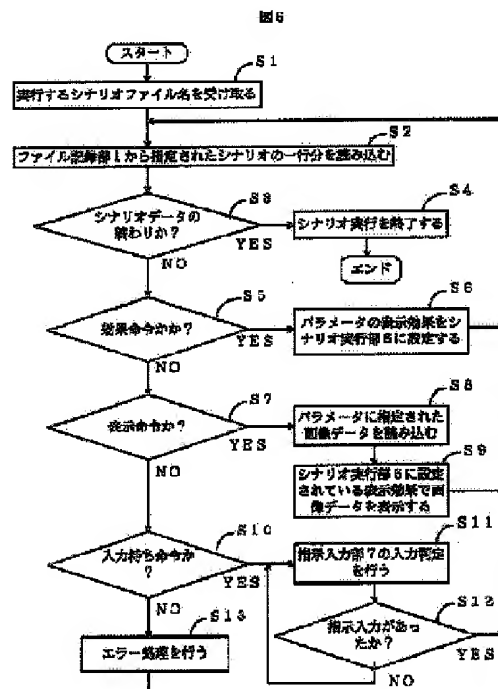
コマンド名	コマンドの機能
効果命令	表示命令と実行する時の効果を指定する
表示命令	現在設定されている効果で指定される画像ファイルを表示する
入力待ち命令	リモコン等からの入力があるまで次のコマンドを実行しない

【図5】

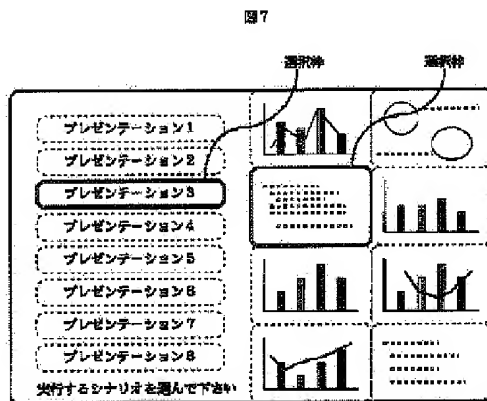
図5

行番号	コマンド名	パラメータ
L1	効果命令	ワイプ
L2	表示命令	縮小1
L3	入力待ち命令	—
L4	効果命令	フェード
L5	表示命令	縮小2
L6	入力待ち命令	—
L7	効果命令	ワイプワイプ
L8	表示命令	縮小3
L9	入力待ち命令	—

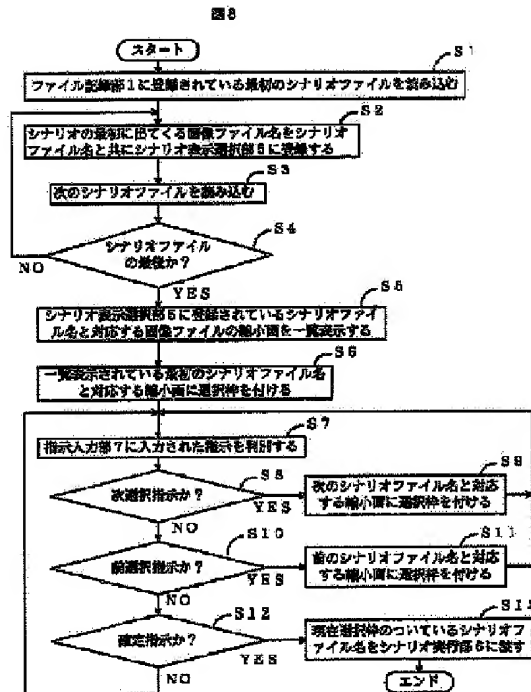
【図6】



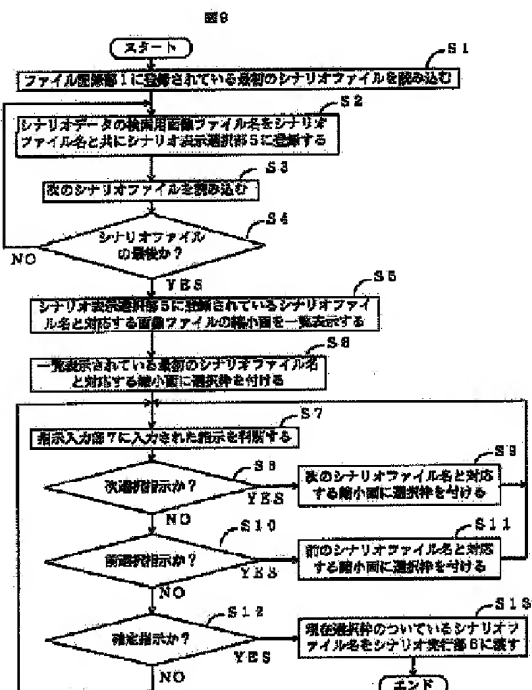
【図7】



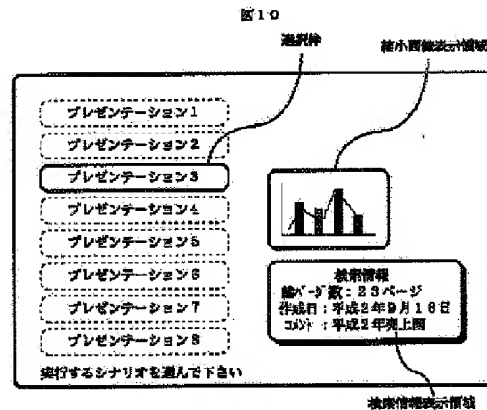
【図8】



【図9】



【図10】



【図11】

図11

